



～障がい者のみなさんが“まごころ” 込めてつくった製品を販売します～ 「まごころ製品販売会」

福岡県では、障がい者のみなさんがつくるパン・お菓子・野菜・果物・縫製品・木工品などの製品、クリーニングなどのサービスを総称して「まごころ製品」と呼んでいます。市でも、障がい者の自立支援のため「まごころ製品」の販売や提供を通じて、障がい者のみなさんの収入向上に取り組んでいます。

今回、就労系障がい福祉サービスでの活動内容や様々な事業所があることを知っていただくことを目的として、「まごころ製品販売会」を開催します。

ぜひ多くの方にお越しいただき、商品を手にとりいただければと思っております。

また、小郡特別支援学校や田主丸特別支援学校の生徒が作った作品の展示も行います。みなさまのお越しを、心よりお待ちしております。

■日時 10月14日(土) 午前10時～午後3時

■会場 道の駅うきは

●問い合わせ 福祉事務所福祉係 TEL 75-4961

～全国から駆け付けた学生ボランティアが宿泊～ ムラおこしセンターに開設“うきはベース”

九州北部豪雨災害被災地への学生ボランティアの宿泊施設として、7月22日から吉井町のムラおこしセンターに「大学生災害ボランティア支援センター（うきはベース）」が開設され、多くの学生に利用されました。写真=8月10日夜、今村副市長による激励



災害ボランティアに贈る“樟チップ”の袋詰め・・・市内中学生が協力

朝倉市など九州北部豪雨の被災地で活動するボランティアが身につける長靴等の消臭・防虫・防湿に役立ててもらおうと「樟のチップ」の袋詰め作業が8月28日、吉井中学校（写真左）・浮羽中学校（写真右）で、部活で登校した生徒のみなさんの協力により行われました。古くから、樟は樟脳（ショウノウ）の原料として用いられてきました。今回、日田市の木材加工業原田重臣さんから提供された樟のチップを段ボール箱から取り出しティーパックに約20グラムずつ詰めて、両校で合計約1万2千袋が作られました。

